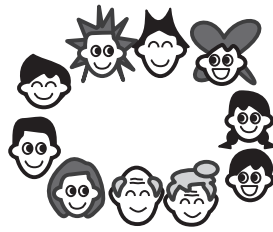


# 津谷歯科医院 口腔ケア新聞

NPO法人  
訪問歯科診療  
を広める会  
賛助会員



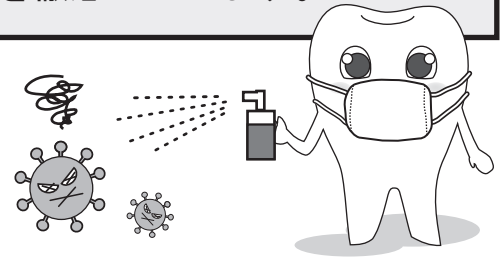
令和2年7月号  
発行人 津谷歯科医院  
院長 津谷良  
住所 岡山市中区海吉1807-14  
紙面に関するお問い合わせは下記まで  
電話：0120-779-418  
配信代行：訪問歯科診療を広める会

皆さん、こんにちは！いかがお過ごしですか？

津谷歯科医院、院長の津谷良です。

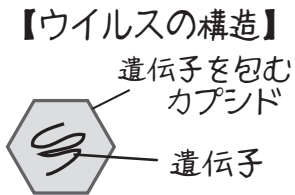
5月25日、全都道府県で緊急事態宣言が解除されました。日本は「完全な都市封鎖をせず、検査数も驚くほど少ないのになぜ感染収束できたのか不可解である」と海外では報道されています。実は新型コロナの場合インフルエンザと異なり、感染者の8割は他人に感染させないこと、感染の多くが3密(密閉、密集、密接)で発生しているという特徴を早期に把握し、クラスター対策に重点を置いたからです。その他マスク、消毒の徹底、衛生観念の高さ、握手等の文化がないことも要因です。自粛解除となりましたが、感染がゼロになることはなく第2波、第3波に備えて、しばらくは新生活様式(3密を避ける等)とマスク・手洗い・消毒を意識しての暮らしになりそうです。今月は、『ウイルス感染症と口腔ケア』の情報です。

当院は、厚労省の定める院内感染防止対策の基準を満たした施設です。訪問歯科診療においても同様に感染防止対策を徹底しています。



## ■ 口腔ケアによる感染予防の可能性


ウイルスの遺伝子はカプシドというタンパク質のカプセルに包まれた構造になっています。このカプシドがプロテアーゼ(たんぱく質分解酵素)に接触すると、はじけるように割れてウイルスが口腔やのどの粘膜細胞に侵入し感染が成立、そしてウイルスの増殖がはじまります。このプロテアーゼという酵素は、口腔内の常在細菌が産生していて、その細菌数は口腔衛生が保たれている人で1000億個、ほとんど磨かない人では1兆個と言われています。不衛生な口腔状態では細菌数が大幅に増えるため、その分多くのプロテアーゼが産生され、ウイルスの増殖を助長してしまいます。実際に歯科衛生士による口腔ケアを受けてると、インフルエンザウイルスの感染が1/10に抑えられるというデータがあります。またウイルスそのものが原因となる肺炎の割合は低く、例えばインフルエンザウイルスに罹った場合の肺炎でも約半数は肺炎球菌や口腔内細菌が原因です。



ランセットという権威ある医学雑誌の報告によれば、新型コロナ肺炎で亡くなった方の半数では細菌による肺炎を合併していたのに対し、生存した方では細菌による2次感染が1%ほどでした。このようなことから、口腔ケアは新型コロナによる感染リスクを抑制、または感染しても重症化リスクを抑える可能性があるかも知れません。今後の報告に期待したいと思います。

◎ 歯科医院・訪問歯科診療の感染防止対策 ◎  
歯科では口を開けて治療が行われるので患者様も感染しないかと不安に感じるのではないかと思います。元々歯科医院では、患者様すべてが感染している前提で盤石な感染予防態勢を実施しています。また平成30年10月に厚労省は医療行為を行う上で感染防止のための厳しい基準を設けました。当院は、この基準をすべて満たした医療機関です。この感染防止対策基準の運用は院内のみならず、訪問歯科診療でも同じです。マスクの着用と頻繁なアルコール消毒をはじめ、薬液による滅菌ができない手袋、注射針、うがいには使い捨てのコップ等を用いて患者様ごとに新しいものを使用しています。どうぞ安心して受診してください。

## ◆ 3密を避け、マスク・手洗い・手指消毒で新型コロナウイルスの感染予防をしよう ◆

口腔ケア新聞の発行にあたって   
ここ数年、外来患者さんやそのご家族から訪問診療のお問い合わせやご依頼を受けるケースがとて増えてきました。小さなご病気されてしまったことがキッカケで、寝たきりになってしまわれたりして、「いつもお元気でいいですね」って話をしていたのに...。そんなことが続いたので、これは本格的に訪問診療に取り組まなければいけないかなって、強く思うようになりました。

そこで取り組みの一環として、要介護者の歯と口に関する情報を地域の介護に携わっている方にお届けしようと考え、口腔ケア新聞を毎月1回発行しています。

## 津谷歯科医院

診療時間 9:00~12:30/14:00~18:30  
(土曜日は16:30まで)  
診療科目 歯科 小児歯科  
休診日 木曜・日曜・祝祭日  
院長 津谷良  
岡山市中区海吉1807-14  
☎ 0120-779-418 FAX 0120-779-413